## 令和7年度 带広畜産大学 「酪農生産衛生技術研修」開催要領

- 1 目 的: 酪農生産現場における技術・経営指導者の育成を図るため、酪農現場における課題発見から改善までの手法を学び、持続的な酪農経営のサポートに必要なスキルの習得を目指します。
- 2 日程: 令和7年7月29日(火)~7月31日(木)
- 3 場 所:帯広畜産大学 (帯広市稲田町西 2線 11番地) 総合研究棟 I 号館 E2503 室および畜産フィールド科学センター
- 4 受講対象: JA 等の農家指導担当者(初~中級レベル)
- 5 定 員:先着10名程度
- 6 研修プログラム

	7月29日(火)	7月30日 (水)	7月31日(木)
8:45		講義:松井基純教授	講義:草場信之教授
9:00	講義:三宅俊輔准教授	・繁殖管理	・乳房炎治療の考え方
	・酪農情勢		・新しい乾乳期治療(予防)
	・酪農経営の特徴		の考え方
	・新技術・ICTの活用		
10:15	・飼料高騰対策		休憩
10:30	休憩		講義:滄木孝弘准教授
10:45	講義:瀬尾哲也准教授	休憩	・蹄の構造
11:00	・アニマルウエルフェアと	講義:草場信之教授	・蹄病と予防
	カウコンフォート	・分娩管理	
12:00		・哺乳子牛および	
12:15		育成牛の管理	休憩
12:30	11.00		11.757
12:45		休憩	
	講義:花田正明教授		講義:海田佳宏氏
13:30	・乳牛用飼料の種類と栄養	講義実習:草場信之教授	(清流酪農サービス)
	・飼料給与方法、	・乳房炎のコントロール	・生産現場における
	栄養設計の基礎	・搾乳システムの	乳検等データの活用
		チェックの勘所	・モニター方法
15:00	休憩	休憩	・改善事例
15:15	講義:草場信之教授	講義実習:草場信之教授	
	・泌乳生理と正しい搾乳	・乳房炎のコントロール	
16:30	・搾乳衛生	・農場サーベイのポイント	アンケート記入
16:45	・搾乳システムと乳房炎	休憩	閉講式
17:00		実習:草場信之教授	
		・搾乳立会	
17:30		実習:草場信之教授	
		・ディスカッション	

- ※1週間以内の海外渡航歴のある方は、家畜防疫上、農場での実習 (7/30 午後) にはご参加いただけません。 また、入場に際し、つなぎ防護服を着ていただきますのでスカートでの参加はご遠慮ください。
- ※ 昼食は各自でご用意願います。また、畜大生協の食堂もご利用いただけます。
- ※ 研修プログラムは予定であり、研修内容・講師等が変更になる場合があります。
- ※ 修了証書の交付:3日間の研修をすべて受講した方に、修了証書を発行します。
- 7 申込期限:**令和7年 6月 30日(月)**

※ 定員に達した場合には、募集を締め切らせていただきます。

8 申込方法:下記の URL または二次元コードから申込フォームにアクセスしてお申し込みください。
※ 申込フォームからのお申込みが出来ない場合は申込書データをお送りしますので、
「12 問い合わせ先」に記載の事務担当者へメールにてご連絡ください。

URL: https://forms.gle/2gLHRqVCyPb6AUgy5



- 9 受講料:30,000円/名(税込み)
- 10 支払方法:受講決定後に振込口座のご案内を致しますので、**7月25日(金)まで**にお支払いください。 ※ 本学の都合により開催を中止した場合を除き、受講料の支払い後に キャンセルした場合、受講料の返金は致しかねますのでご了承ください。
- 11 その他: 宿泊施設の斡旋はしませんので、各自で市内のホテル等をご予約願います。
- 12 問い合わせ先:ご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。
  - 研修内容に関すること

帯広畜産大学 畜産フィールド科学センター 教授 草場 信之

TEL: 0155-49-5651 FAX: 0155-49-5654 E-mail: kusaba@obihiro.ac.jp

○ 事務に関すること

带広畜産大学 教務課 社会人教育係 担当:藤田

TEL: 0155-49-5457 FAX: 0155-49-5420 E-mail: rec\_kyoumu@obihiro.ac.jp

## 【個人情報の取扱いについて】

- (1)帯広畜産大学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」 等の法令を遵守するとともに、「北海道国立大学機構保有個人情報管理規程」に基づき、保護に 万全を期しています。
- (2) お申し込み時にお知らせいただいた氏名、連絡先等の個人情報については、連絡等の運営業務を行うためにのみ利用します。
- (3) セミナー等をより効果的にするために、講師に所属機関及び氏名を提供することがあります。